マルチメディア

メタデータ活用
「アプリ開発セミナー」
開催のご案内

ＪＣＣ株式会社
https://www.jcc.co.jp/

日本ヒューマニクス株式会社
https://www.v-news.co.jp

（セミナー開催の趣旨）
マルチメディア向けアプリ開発のご提案

マルチメディア社会の到来が叫ばれて久しいですが、近年のＰＣやスマホなど情報端末およびＩＴ、インターネット、高速大容量無線通信システムなどデジタル技術のめざましい発展は、いよいよマルチメディアによる社会生活革命が現実のものとなりつつあります。

最近、受信チューナーが無いテレビが爆発的に売れるといった現象が話題となり、家電業界に衝撃が走りました。特に、ＴＶ見逃し番組配信アプリの「ＮＨＫプラス」や「ＴＶｅｒ」のサービスが始まると、テレビを持たないスマホ若者やＰＣ愛好者を中心にアプリでテレビを視聴する人々が急増していますが、この社会生活が人々の当たり前になる日も近いことでしょう。（４ｐ「いよいよテレビ放送革命、スマホでもテレビが視聴できる時代に。NHK受信料の行方は、、、」参照）

そこでご提案したいのが、ＪＣＣ（株）所有の**メタデータ**活用による付加価値がついたマルチメディア（テレビやインターネット上の映像や動画）アプリの開発ビジネスです。

メタデータとは、ビッグデータ（大量の単純データ）から利用目的に応じて検索しやすいように加工した有益データ（属性とか時間とかのタグがついたテキストデータ）のことです。

メタデータの特徴としては、マルチメディア（テレビやインターネット上の映像や動画）と紐ずいていますので、**メタデータ**に検索をかけることにより、瞬時にマルチメディア上の映像（ロゴマークなど）や動画（ニュース番組など）をクラウド上やストレージから引き出すことができる点です。例えば、視聴者が今見たい「映像箇所」を効率的に見ることが出来ます。つまり、開発するアプリの付加価値によっては、アプリ利用者に大変便利で有益な情報やエンターテイメントを提供すことができます。

ぜひ、**メタデータ**を活用した付加価値の高いアプリを開発していただき、人々の社会生活に貢献していただくと共に、貴社のビジネスに生かしていただければと思います。

＊メタデータに関しては各種特許を取得済みですので規定を守っていただければ、ご安心してご利用いただけます。

マルチメディア**メタデータ**を活用したアプリ開発とは

地上波 BS CS

マルチメディア
（映像や動画）

インターネット

PC,スマホなど

ＪＣＣ（株）ではＴＶやWebなどマルチメディアのニュース番組の映像や動画をＡＩ技術を駆使して**メタデータ**化（テキストデータ）しています。また、全てのＴＶ放送はＪＣＣのrecorder（ストレージ）に録画されていますので、メタデータで検索すれば瞬時にrecorderやWebから目的のニュース映像や動画、放送番組等を取り出すことができます。

■参考URL　JCCテレビすべて
https://jcc.jp/

JCCマルチメディア検索エンジン

マルチメディア向けアプリは巨大市場になる！

TV視聴アプリ
など

いよいよテレビ放送革命。スマホでもテレビが視聴できる時代に。

ドンキ「NHK映らないTV」大ヒット　続く他メーカー、受信料徴収の行方は

JCASTトレンド

　ドンキの公式サイトでは「地上波受信料不要」との文言とともに「チューナー（受信設備）を内蔵していないため、地上波の月々の受信料を支払う必要がありません」と説明。「受信料不要」を打ち出したテレビを発売したところ、テレビを持たない若者や受信料に不満を抱いている人を中心に大ヒットとなりました。

　視聴者が求めるテレビ視聴アプリの開発が進めば、録画機を購入することなくスマホ（インタネット）で好きな時間に好きな番組を視聴できる時代がすぐそこまで来ています。

（画像はドン・キホーテのリリースより）

セミナー開催のご案内

＜参加のメリット＞

１、マルチメディアメタデータへの理解が深まります。

２、近未来のマルチメディア社会生活革命とは何かが見えてきます。

３、アプリ開発の課題解決やビジネスモデルのヒントを発見することができます。

●参加費：無料

●開催日：毎月１回（１３：３０～１６：３０）を予定

■講師ごあいさつ　石井孝利　（略歴は次ページをご参照ください）

テレビは1950年代から近代の情報社会を支え続けてきた巨大メディアですが、最近は成長著しいインターネットメディア（Web）が大きな存在感を示し、マルチメディアの主役となりつつあります。

インターネットの目覚ましい発展は、これからもハード面（高性能低価格端末を実現した集積回路技術など）とソフト面（高次元OSや高機能アプリなどのICT）の開発に支えられて、真のマルチメディアによる社会生活革命に向けて益々加速することでしょう。

それでは、今後マルチメディアはどのような発展系を辿るでしょうか。そのことを知れば、あらゆる産業への影響とビジネスチャンスが見えてきます。

このセミナーでは、メタデータの特徴の解説とともに、発展分野の見極め、及び皆さんが開発しようとするアプリにまつわる技術的問題や著作権等の法律的課題について考えてみたいと思います。このセミナーが貴社の事業発展に貢献することを心より祈ります。

■ 講師　石井孝利（JCC創業者）の紹介と著作物

27歳の若さでハイテクベンチャー企業の日本電算機（株）を設立し、高性能ＰＣの開発や世界に先駆けて インタ ーネット専用端末“iBOX“を発売するなど、今日まで常にＩＴ分野の最先端を走り続けてきました。特に、専門家に”デジタル社会の預言書”とまで言わしめた、2000年発行の著書「図解-次世代ＩＴ」は、自動運転やｅ-ビジネス等々、今日のデジタル社会をことごとく的中させたことから、氏の洞察力と予見力は国内外の専門家から高く評価されています。

- **発行：**東洋経済新報社
- **発行日：**1995年2月9日（中国版：1996年4月）

内容「俺たちが明日を創る！」ハイテク最前線をリードするベンチャー経営者の提言。アメリカ発マルチメディアハイウェイとは/日本版マルチメディアハイウェイの可能性/ベンチャーが動く、世界が変わる　他

- **発行：**東洋経済新報社
- **発行日：**1995年11月1日

内容「ウィンドウズ95」は、人を、生活を、仕事を、社会をどう変えるのか?コンピュータを個人の情報武装ツールに変えるウィンドウズ95がもたらすことと、これからのゆくえを、キーボードを叩かない人にも分かりやすく解説する。

- **発行：**東洋経済新報社
- **発行日：**2000年2月1日

内容　2005年までに現在のインターネット環境・状況はあらゆる面で一変する。
激化する技術の進化・変転・動向を中心に、第2次インターネット革命の全貌を明らかにする。

- **発行：**東洋経済新報社
- **発行日：**2000年12月1日（韓国,台湾版：2001年5月,10月）

内容　新しい世紀をリードするのがＩＴだということは誰の目にも明白ではある。では、具体的にはどのような技術がいつ生まれ、どれだけのインパクトで我々の生活に影響するのだろうか？
近未来技術のすべてを大胆予測！

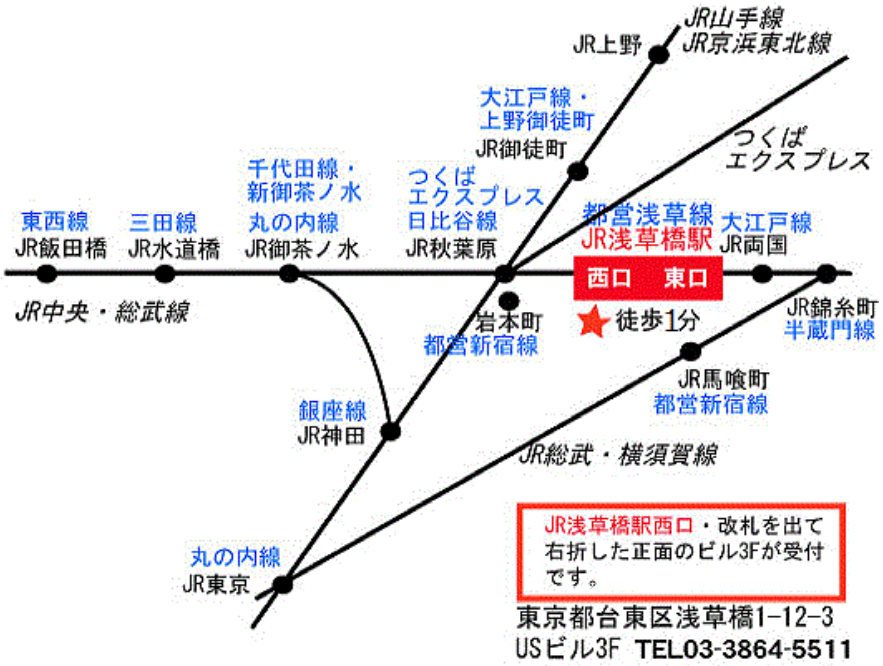
（内容は「BOOKデータベース」より）

セミナーへの参加方法

■参加希望者は「会社名・所属・お名前」を明記の上、メールにてお申込みください
追って、開催日時をメールでご返信いたします。

- 事務局担当者　中村 和雄（日本ヒューマニクス（株））

  連絡先（メール）　naka@v-news.co.jp



＜開催場所＞（右のMAP参照）

ＪＣＣ株式会社「１階ショールーム」

東京都台東区浅草橋１－１２－３　ＵＳビル

（ＪＲ、都営浅草線「浅草橋駅」徒歩１分）